

【中国新興都市 50 選】

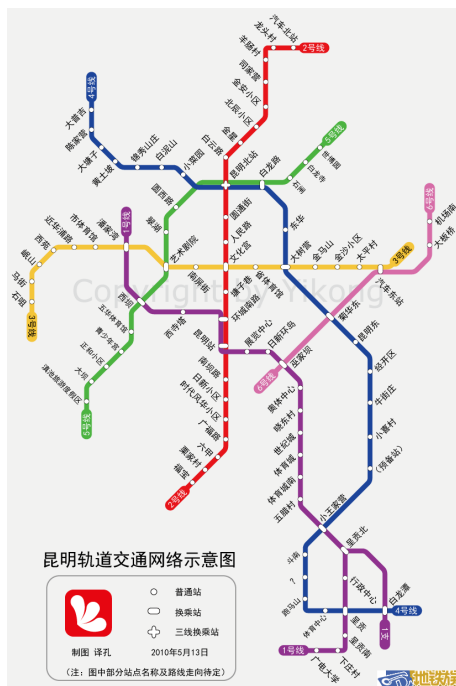
総合不動産サービス業の Jones Lang Lasalle は 3 月 20 日、今後の発展が期待される中国の二・三線都市についてのレポート「China50: Fifty Real Estate Markets that Matter」を発表した。同社は、これら 50 都市だけで、その経済規模は 2020 年までに 6.7 兆ドルに達し、日本を抜く規模になると予測している。

<http://www.joneslanglasalle.com/China50/en-gb/Pages/China-Real-Estate-Markets.aspx>

【Jones Lang Lasalle による中国新興 50 都市】

一・五線都市	成都、重慶、瀋陽、杭州、天津、大連、武漢、蘇州、南京
二線都市	青島、アモイ、西安、寧波、長沙、合肥、鄭州、無錫、東ガン、 済南
三線都市（新興型）	福州、昆明、長春、ハルビン、仏山、石家庄、南寧、常州、南昌、 フフホト、温州、煙台、南通
三線都市（起步型）	珠海、貴陽、太原、ウルムチ、紹興、中山、嘉興、維坊、唐山、 徐州、金華、泉州、洛陽、蘭州、海口、吉林、襄陽、スワトウ

昆明市は、Jones Lang Lasalle が取り上げた三線都市の中では福州市（福建省）に次いで二番目に可能性が大きい都市とされている。その昆明市にとって 2012 年は大きな飛躍の年になりそうだ。6 月 28 日には北京空港に次いで国内第二位の広さのターミナルビルと 4000m 滑走路二本を持つ新空港が市街地東北部に開業する。建設が進んでいる地下鉄も早ければ 7 月には一号线が開通する予定である。



← 昆明市の地下鉄網（計画図）

なお、昆明市には、上海＝杭州＝長沙＝貴陽＝昆明と結ぶ高速鉄道や、昆明からラオスを経由してシンガポールまでを結ぶ国際高速鉄道の計画もある。

昆明は一人当たり GDP では武漢や瀋陽の約半分の水準であるが、消費が急速に伸びており、これに着目した日本企業も昆明への投資を進めているようである。今年に入り、既に2月に無印良品 (MUJI) が市内の金鷹商場内に店舗を開いたのに続き、今月には市内一の繁華街南屏街にある百大新天地にユニクロが開業すると言われている。昆明の中心部は重慶に比べると一回り小さいものの、新しいビルが立ち並び、活気があふれている。また、市の中心部には「南アジアゲートタワービル」という高さ 333 メートルの超高層オフィス・住宅ビルの建設が進められている。



↑ 繁華街「南屏街」の様子。



↑ カルフール (左) や、ユニクロが入る予定の百大新天地 (右) 等の商業施設。

なお、昆明では、昨年7月に「偽物のアップルストア（アップル直営店）」があるとして西側メディアで話題になった。¹しかし、今回訪れてみたところ、看板からアップルストアの名称を消去しただけでそのまま営業していた。市内にはほかにも各種百貨店の中に同様の店がたくさんあり、中国地方都市でもアップル製品の人気が高いことをうかがわせた。



←西側報道機関では大々的に報道された「偽アップルストア」(左・Reuter 2011年7月配信)だが、看板のリンゴマークと Apple Store の名称を消去し、木製テーブルを白塗りに取り換えて営業していた。(上・2012年3月)

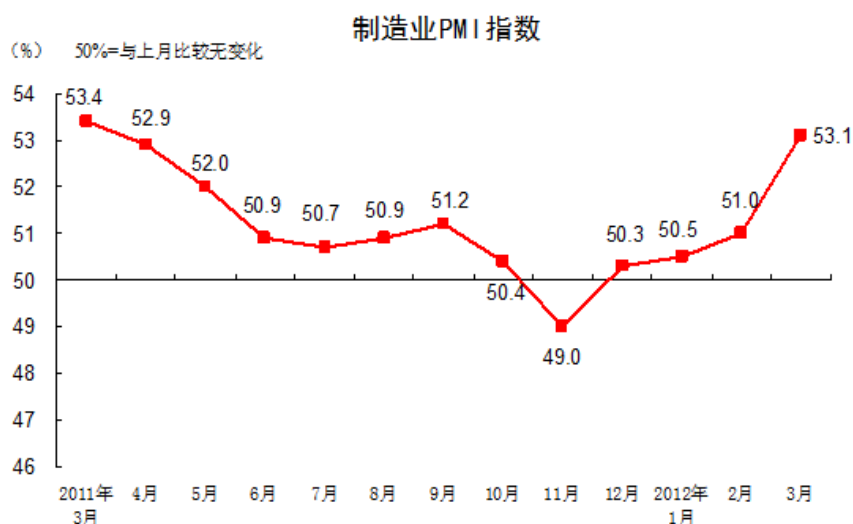
¹ sankei.jp.msn.com/world/news/110722/chn11072211560000-n1.htm (中国に偽アップルストア登場、「完全なパクリ」と驚嘆の声)等。

【中国経済】

中国経済については、マクロベースでは比較的良好な数字が相次いで発表されており、第二四半期までずれ込むと見られていた景気の底打ちが既に第一四半期に前倒しで底打ちしたようにも見える。こうした明るい動きを受けて、野村ホールディングスは年間成長率目標を7.8%から8.2%に引き上げたと伝えられている。²

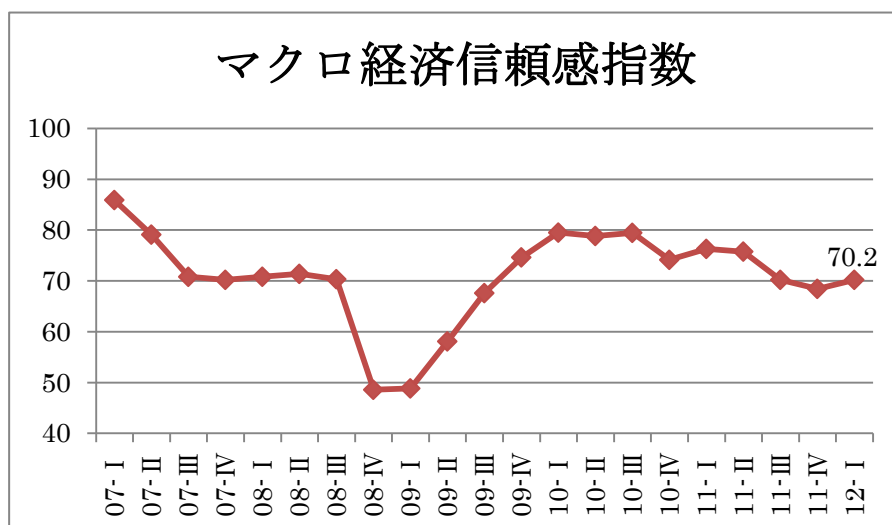
4月1日、国家統計局は3月の製造業PMI指数を発表。

指数は前月より2.1ポイント高い53.1と大幅に上昇し、中国の製造業がはっきりと底打ちした姿を描き出した。特に新規受注指数は前月より4.1ポイント高い55.1となった



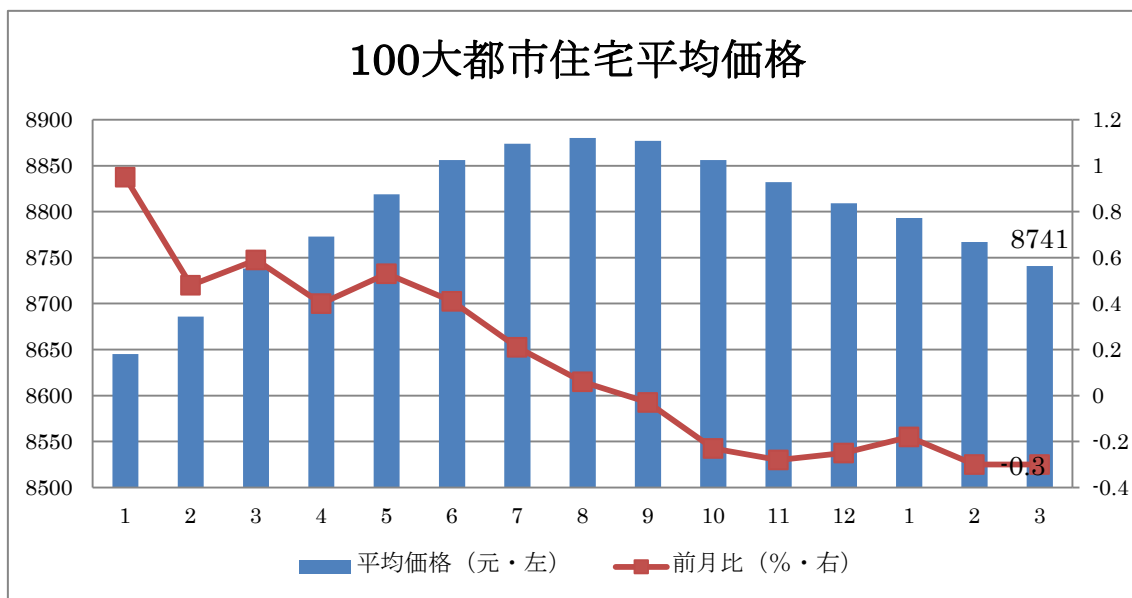
3月20日、中国人民銀行は第1四半期の5000企業アンケート調査結果を発表。

人民銀行が四半期毎に発表している、主要5000企業家を対象としたアンケート調査による「マクロ経済信頼感指数」は昨年第1四半期以来一年ぶりに上昇し、前期より1.8ポイント高い70.2となった。



² <http://www.bloomberg.co.jp/news/123-M0SZL96JTSE901.html>

一方で、輸出型の中小企業が多い広東省は、1-2月の工業企業営業収入が▲1.8%、実現利潤は▲31.6%の大幅なマイナスとなったと伝えられている。また、4月1日に発表された百大都市の住宅価格も昨年9月以降7カ月連続して下落し、歯止めがかかっていないことが明らかになった。全体として回復基調が見えつつあるものの、地域や業種、規模等による差が拡大している印象を受ける。



(以上)

Disclaimer: 本資料中の数字は注意してチェックしていますが正確さを保証するものではありません。

文章中意見にかかる部分は個人的見解でありいかなる組織の意見でもありません。